

経営比較分析表（令和元年度決算）

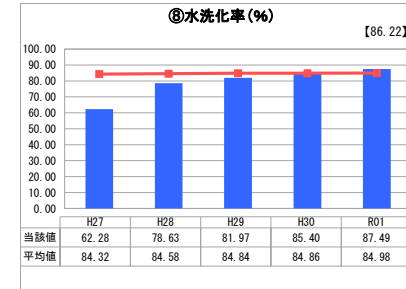
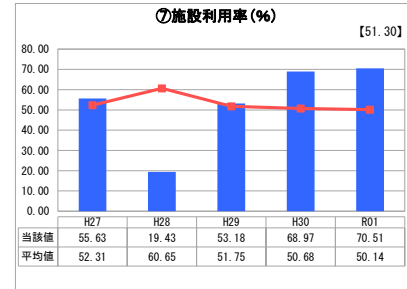
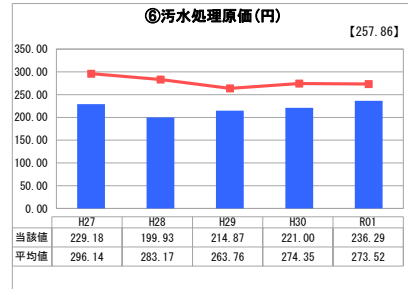
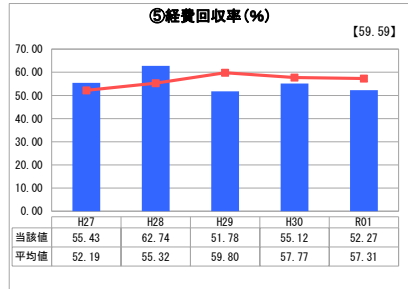
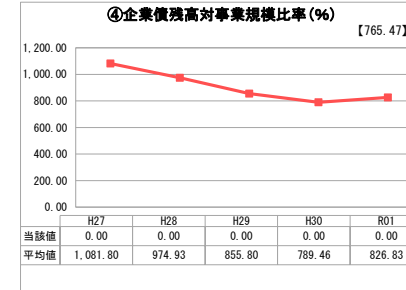
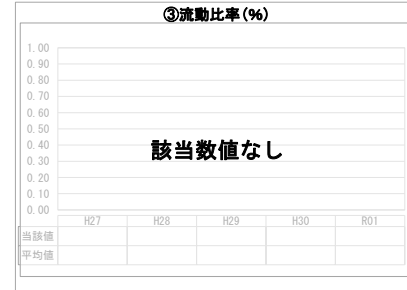
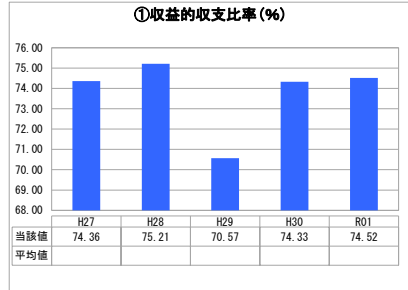
三重県 明和町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法非適用 | 下水道事業 | 農業集落排水 | F2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 該当数値なし | 17.10 | 100.00 | 3,240 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 23,139 | 41.04 | 563.82 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,949 | 1.29 | 3,061.24 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値） |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和元年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【収益的収支比率】
H29年度においては、償還金の増額に伴い例年より大きく下回っていたが、H30年とR01年では例年通りの数値に至っている。

【経費回収率】
例年50%程度を超えている程度であり、使用料では汚水処理に係る経費を賅えていない状態である。類似団体の平均値においても、同じような数値の推移となっていることから、当町が特別悪い状態に陥っているわけではないことが見てとれる。しかし、今後も改善に向けて汚水処理費や使用料の見直しを検討する必要がある。

【汚水処理原価】
公共下水道事業と比較して処理区域が広いために原価が高くなっているが、類似団体の平均値を下回っている形で安定をしている。

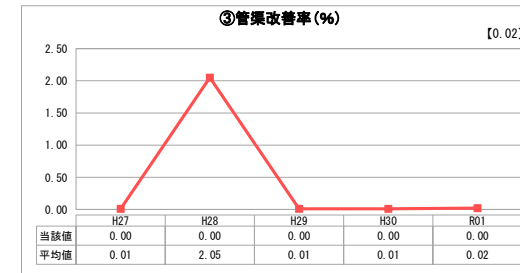
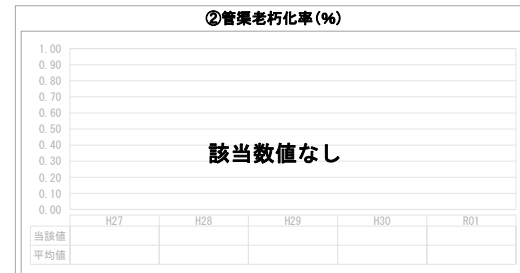
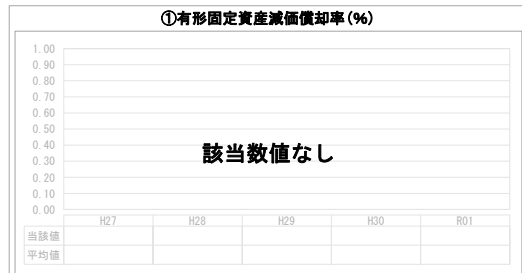
【施設利用率】
H30年度と同様に類似団体の平均値を大きく上回る形となった。施設の利用状況やスペックにおいては、現状おおむね適正であるといえる。

【水洗化率】
供給開始後、徐々に水洗化率は上昇しており、ここ数年の上昇は緩やかなものとなっているが増加している傾向である。

2. 老朽化の状況について

下御糸処理場においては供給開始から18年目となり、今後も機能診断調査や保守点検を行い施設管理を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水事業は2つの処理場で運営をしているため、維持管理における経費の削減が改善に向けて重要な課題となっている。
また、未接続世帯への接続依頼や未納料金の徴収といった使用料徴収の拡大の取り組みも継続して行う必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。